妻ケ丘中学校だより

令和6年4月10日 校長 深江 祐史

いよいよ令和 6 年度が始まりました。4月9日の入学式で 198名の 1 年生を迎え、全校生徒585名(2年生181名、3年生206名)で妻ケ丘中がスタートします。

妻ケ丘中は、前年度までの実績を受け継ぎ、今年度もさらなる充実を図って参ります。目指すべき姿は、本年度も「自立・感謝・貢献」です。どうぞよろしくお願いいたします。

始業式が行われました

4月8日の始業式で3名の生徒に「新学期の抱負」を述べてもらいました。

新2年代表の エンフタイワン テンゲンバヤル さんは、学年全体で①あいさつを「自分から、明るく、気持ちのよい」ものに進化させていきたい。また、②進路目標を定めて勉強を頑張っていきたい。

新3年代表の 飯田 真希 さんは、立志の集いで選んだ「挑む」にちなみ、新しいことに挑戦したい②最高学年としての自覚と責任をもって今まで培ってきた力を発揮したい③メリハリをつけた家庭学習に取り組みたい。

生徒会代表の 吉留 凰将 さんは、①「自立・感謝・貢献」を意識して目標を達成していきたい。②すべての行事を責任もって一歩一歩確実に進むことで学校を明るくし、最後の日に笑顔で正門を出られるようにしたい。

3名とも新年度のスタートにふさわしい実に堂々とした発表でした。新1年生に見せたい先輩 たちの姿でしたが、そういう機会はこれからきっと数多くあると思います。どうぞ今の気持ちを大 切にして、新しい妻ケ丘中をつくっていってください。この1年頑張りましょう!

その後、私から全校生徒に対して以下の話をさせていだきました。

新年度のスタートです。これまでもみなさんにずっとお話ししてきたことですが、本年度も同じです。「自立・感謝・貢献」です。自立できる、感謝できる、貢献できる妻ケ丘中生になってほしいと思います。

「自立」する上で大切なこと。ひとつめは、「自分の頭で考える」です。

自分の・・・という部分が大事なところです。自分の頭で考えるのはけっこう面倒くさいことです。でも、自分の頭で考える癖をつけておかないと、結局、どんな結果であってもじぶんの成長にはつながりません。学校は、ある意味、失敗するところでもあります。「失敗のない人生、それこそが失敗である」失敗は若者の特権でもあります。まずは、自分の頭で、時には脳に汗をかくくらい悩むときもあるかもしれませんが、自分の頭で考えるクセを付け

て欲しいと思います。

ふたつめは、「適切な判断をする」です。

みなさん、海で遭難し漂流したとき、一番欲しくなるのは、何でしょう。それは「水」です。 しかし、海水を飲めば、更にのどが渇き、また我慢できずに海水を飲んでしまう。このくり返 しで体力が持たなくなるんだそうです。

では、どうするのが一番いいのか。それは雨が降るまで、我慢することだそうです。これ が生き延びる唯一の道だそうです。舟に乗る仕事の人は、まっさきにこのことを教えられる そうです。

これまでも、そしてこれからもAかBか 道を決めなければならないときがあります。Aの 方が楽そうだけど、Bを選ぶと少しきつそうだけど・・・自分のためになるのはどちらなの か?・・・適切に判断して欲しいと思います。

そして、最後は、「行動する」です。

自分の頭で考えて、適切に判断したら、最後は行動する。行動しなければ何も変わりま せん。行動したら、必ず何かが変わります。

しかし、これがなかなか難しい。やっぱり少し怖い・・・必要なものは、「勇気」です。

心優しい妻ケ丘中の皆さん、あなたの周りの誰かが、勇気を出して頑張ろうとしている とき、そう見えたとき。言葉に出して、いや、言葉に出さなくてもいいので、そっと応援して下 さい。決してその人の「勇気」をくじいてはいけません。

人間はいつダメになるか?他人がそのような烙印(らくいん)を押したときではありませ ん。自分で自分をダメな人間だと認めたとき、ダメになるのです。努力を怠るのです。

これから一年間、くじけそうになるときもあるでしょう。しかし、どうぞ、自分の良さを信じ て頑張って下さい。皆さんにとって素晴らしい一年間になることを祈っています。頑張って 下さい。

どうぞよろしくお願いいたします

今年度、新たに16名の職員が妻ケ丘中に赴任しました。職員一同、力を合わせて頑張ってい きたいと思います。今年1年、どうぞよろしくお願いいたします。

・松下 幸政 教頭 山田中より ・新濱 ともえ 先生 志和池中より

·田口 直美 先生 新規採用

·增田 眞子 先生 新規採用

・内村 有希 先生 泉ヶ丘高校より ・堀之内 翼 先生 宮崎市立木花中より

·平田 望 先生

·森重 太晴 先生

·上森 朋乃 先生

·内田 亜利沙 先生 新規採用(事務室)

·井口 美紀 先生(事務室)

・山下 次代 先生(図書館サポーター)

·原田 理恵 先生(相談室担当)

·宇都 佐友子 先生(支援員)

·坂元 辰哉 先生(支援員)

·吉元 博美 先生(支援員)